

令和4年度 学校評価結果

郡山市立喜久田中学校

数字は、よくあてはまる=4 ややあてはまる=3 あまりあてはまらない=2 全くあてはまらない=1 としての平均値で、3.00未満は色枠で表示しています。

【学び続ける生徒】

質問項目	1年	2年	3年	全校	教職員
① 子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	2.93	2.67	3.06	2.91	3.17
② 学校は、子どもの個性や努力をよく把握し、適切に指導・評価している。	3.10	3.00	3.35	3.16	3.33
③ 子どもは、進んで家庭学習に取り組んでいる。	2.95	2.67	2.84	2.85	2.17
④ 子どもに、基礎的な学力が身についてきている。	2.95	2.81	3.06	2.96	2.83
⑤ 子どもは、将来の夢や目標を持って努力している。	2.88	2.62	2.84	2.81	2.58

【心ゆたかな生徒】

質問項目	1年	2年	3年	全校	教職員
⑥ 学校は子どもの心身の健康についての指導を工夫している。	3.24	3.00	3.42	3.25	3.46
⑦ 子どもに、思いやりの心や命を大切にする心など、豊かな心が育ってきている。	3.37	3.29	3.58	3.42	3.46
⑧ 子どもに基本的な生活習慣が身についてきている。	3.22	3.33	3.35	3.29	3.31
⑨ 学校は各種行事や体験活動に力を入れている。	3.32	3.24	3.42	3.33	3.15
⑩ 子どもはSNSやゲーム、インターネット等をルールを決めてやっている。	2.95	2.71	2.74	2.83	2.38
⑪ 子どもに、読書に親しむ習慣が身についてきている。	2.76	2.14	2.39	2.49	2.33

【健やかな体づくりに努める生徒】

質問項目	1年	2年	3年	全校	教職員
⑫ 学校は、子どもの安全・安心に配慮した教育活動を展開している。	3.32	3.38	3.52	3.40	3.69
⑬ 子どもは、進んで運動に取り組み体力の向上が見られる。	3.37	3.19	3.06	3.23	3.23
⑭ 子どもにねばり強さが身についてきている。	3.10	3.14	2.97	3.06	2.69
⑮ 子どもは健康で安全な生活を心がけている。	3.37	3.33	3.48	3.40	3.23
⑯ 学校では、給食指導や家庭科の授業を通し食の大切さを指導している。	3.49	3.38	3.48	3.46	3.46

【家庭・地域・関係機関との連携】

質問項目	1年	2年	3年	全校	教職員
⑰ 学校は、教育目標や教育方針を説明している。	3.44	3.48	3.52	3.47	3.77
⑱ 学校は、子どもや保護者の意見・悩み等に対し、親身に対応している。	3.46	3.05	3.48	3.38	3.69
⑲ 学校は、各種お便りやホームページで、学校や子どもたちの様子を伝えている。	3.24	3.00	3.58	3.30	3.77
⑳ 学校が保護者に出すお便りや文章などは、分かりやすく時期も適切である。	3.41	3.14	3.58	3.41	3.41
㉑ 学校は、地域と連携した教育活動を展開している。	3.22	2.90	3.23	3.15	3.38

【自由記述】

ご質問・ご意見等	学校からの回答
○ 一部の先生に今の時代に合わない言葉が厳しい指導が見られる。	言語環境を整え、生徒の心に響く指導により一層心がけてまいりたいと思います。ご指摘ありがとうございます。
○ ホームページやマチコミによる連絡をもっと出してほしい。また、ホームページの写真を増やしてほしい。	マチコミに関しては、緊急に必要な情報を配信しております。タイムリーな情報発信に努めてまいります。また、ホームページには、学校の様子が分かるように充実させてまいりたいと思います。
○ 学校からのお便りが子どもが持ち帰らないときがあり、心配になる。	学校だよりや学年通信は、定期的に金曜日に発行しています。また、大切なプリントは、持ち帰るように学校でも指導してまいりますので、ご家庭でもご確認をよろしくお願いいたします。
○ アンケートに無記名にしたほうがより多くの意見が出るのではないか。	以前に無記名で実施したところ、建設的でない意見が寄せられ、回答に責任を持っていたため、氏名を記入していただくようになりました。ご協力をお願いいたします。

※ 建設的なご意見をありがとうございました。

◎ 結果の考察と今後の対応策

- 「学び続ける生徒」では、保護者・教職員共に「学校は、個性や努力をよく把握し、適切に指導・評価している。」への評価が高かった、さらに一人一人の生徒に寄り添った指導を心がけたい。
- 「心豊かな生徒」では、保護者・教職員共に「子どもに、思いやりの心や命を大切に作る心など、豊かな心が育ってきている。」「学校は、子どもの心身の健康についての指導を工夫している。」への評価が高い。今後とも家庭と協力して心の教育を進めていきたい。
- 「健やかな体づくりに努める生徒」では、「学校は、子どもの安全・安心に配慮した教育活動を展開している。」「学校では、給食指導や家庭科の授業を通し食の大切さを指導している。」への評価が高い。さらに食を大切に体づくり、そして、安全・安心な教育環境づくりを進めていきたい。
- 「家庭・地域・関係機関との連携」では、「学校は、地域と連携した教育活動を展開している。」以外、評価が高かった。新型コロナ禍後の活動を念頭に、信託に応えることができる教育活動を家庭・地域・関係機関と連携しながら進めていきたい。
- 「学び続ける生徒」では、全体的に3.0を下回っており、課題である。将来の夢や目標を持ち、それに向けて努力していけるように、授業の改善と家庭学習の充実に向けて、保護者と学校が連携して取り組んでいきたい。
- 「心ゆたかな生徒」では、インターネットの使用や読書の習慣に課題が見られる。ICTの活用による学習はこれからの学校教育に不可欠である。情報モラル教育の充実をか家庭と連携して進めていきたい。また、朝の読書活動、図書館教育の充実を図っていきたい。
- 「健やかな体づくりに努める生徒」では、「子どもにねばり強さが身についている。」が項目の中では、低い評価となっている。特に教職員の評価が低い。授業や部活動など学校の教育活動を通して、最後までやり通すことを大切にしながら指導し、自分に自信をもった生徒を育成していきたい。
- 「家庭・地域・関係機関との連携」では、「学校は、地域と連携した教育活動を展開している。」に課題が見られる。新型コロナ禍により家庭と地域と連携した活動が少なくなっている影響は大きい。今後、感染対策に工夫しながら地域の中の学校であることを生徒が実感できる活動を進めていきたい。

※ 本アンケートは回収率が、1年 89.1% 2年 62.9% 3年 69.8%
 でした。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。